



# 大歳人権だより

発行 大歳地区人権学習推進協議会 TEL 922-4035 FAX 922-4036

## 元気の源は「見守り隊」活動です

朝7時、いつもの交差点で立哨し、子どもたちや地域の人に声掛けをしながら見守りを続けています。始めて10数年、ほぼ皆勤です。

「見守り隊」の活動は、私の元気の源になっています。毎日の生活のリズムを整えてくれます。

長い間にはいろいろな出来事がありました。入学時から保護者に連れられて、泣きながら通った女の子、その子は今では中学2年生、私の前をすまして通ります。成長しました。

また、いつも一緒に通学していたのに、ある日突然別々に通り、心配したこともありました。

子どもの世界もいろいろあるのでしょう。子どもたちから学ぶことも多々あります。

子どもたちの成長を見守りながら、毎朝声掛けをすることができることに感謝です。これからも続けてまいります。

大歳地区人権学習推進協議会 会長 吉富 崇子

## 人権教育講演会・特別活動(人権標語作成)が実施されました【鴻南中学校】

### ～人権教育講演会～

令和5年11月9日(木)、人権参観日と人権教育講演会を開催しました。

人権参観日は、各学年で人権に関する道徳の授業を実施しました。人権教育講演会では、元中学校校長で落語家の“由宇亭拓の輔”こと塚田拓司氏を講師としてお招きし、落語や講義を通して、相手の立場に立ったコミュニケーションの大切さについてご講演いただきました。

多くの生徒が落語を聞くのは初めてでしたが、中学生にも分かりやすい内容で、笑いのあふれる楽しい時間になりました。笑いの中にも、自分の話し方で相手がどのように感じるか、日常生活に潜む差別や偏見についての問題提起が含まれており、生徒たちだけではなく、保護者や教職員にとっても考えを深める良い機会となりました。

### 【講演後の生徒の感想】

- ・初めて目の前で落語を見ました。一瞬でみんなが楽しい気持ちになりました。落語の力ってすごいな、と思いました。私も人を笑顔にできるようになりたいです。(1年生 女子)
- ・たった数文字の言葉で、人間関係が大きく変わる、というお話が心に残りました。今は、ラインなどをみんながやっていて、文字一つがあるかないかで相手の捉え方が変わることがあり、とても怖いことだな、と思いました。僕たちの日常生活にも関わることなので、気をつけたいと思いました。(2年生 男子)
- ・落語もとても面白かったですが、それを通して言葉の力について知ることができたので良かったです。言葉はたった一言で、人の人生を良くも悪くも大きく変える事ができます。私は良い方向へと、自分も周りの人も変えられるような人になりたいです。(3年生 女子)



## ～人権標語～

10月の特別活動では、各学年人権標語を作成しました。「住みよい地域をつくる」というテーマのもと、みんなが安心して暮らせる住みよい地域をつくるためにはどのように人と関わっていけば良いかを考えながら標語を作りました。最優秀作品と優秀作品を選出し、校舎内に掲示しました。

最優秀作品：「あいさつが ほどく心の 固結び」	3年	元石	ななみさん
優秀作品：「人は花 きれいな言葉は 良い肥料」	1年	秋山	蓮さん
優秀作品：「あいさつは 笑顔のタスキ つないでいこう」	2年	柳	慶士さん
優秀作品：「あいさつと 無敵の笑顔 ニ刀流」	3年	中井	優奈さん

## 人権教育講演会が実施されました【大歳小学校】

今年度は11月24日（金）に人権教育参観日・人権教育講演会を実施しました。

子どもたちの発達段階に応じて、自己有用感や自己肯定感を基礎とした「命の大切さ」や「相手を思う気持ち」、「節度ある生活」、「インターネットコミュニケーション」などに関する授業を参観していただきました。その後、6時間目に、山口大学国際総合科学部 教授 小川仁志先生を講師としてお招きし、「他者にも自分にもやさしく生きるための方法」という演題でお話をしていただきました。

私たちの身近には、さまざまな人権問題が幅広く存在しています。今日の社会においては差別問題だけではなく、基本的人権の享有が阻害されているという問題なども含めて多くの人権課題が見受けられますが、子どもたちには、まずは目の前にいる仲間、自分の心身を大切にできる子、日常の中の小さな「気付き」に目を向けることのできる子に育ててほしいと思っています。

小川先生の講演の中にも、立ち止まって考え、多方面から物事を見ることの大切さについてのお話がありました。流れる日常の中、ふと立ち止まって考えると新しい発見があること、その発見に感動することができれば、心の持ちようが変わってくること、そうすれば他者にも自分にもやさしく生きていける。「嬉しい、楽しいときは誰かにやさしくしたくなるでしょ？がっかりして嫌なとき、がっかりしたままって自分にやさしくないよね。」時折児童へ問いかけられ、「考え」のキャッチボールをしながら新しい考え方に触れ、受け入れ、共に深めていく時間はとても温かいものでした。

どの考え方も受け入れ、否定されない小川先生の話しぶりに子どもたちは安心して心を開いており、参加者にとっても世界観が広がる貴重な講演会となりました。



動物！

他の動物とは違う

心があって発明できる！

失敗、中途半端、じれったさを受け入れる。全部いいと思う！GOOD！これが自己肯定感。

他者も自分も人間。  
そもそも人間ってなに？

そうだね。人間って、深くてもりのある思考を持っていて、かけがえのない存在。代わりがないんだよ。